



今年3月に結成して以来、祭りに向けて何度も会議を重ねるToyoCharmと豊明青年会議所まちづくり委員会のメンバー。全員が「地元を盛り上げたい」という思いのもと集まった



ToyoCharmの皆さん。左端が酒井雄矢委員長、左から3番目がリーダーの桑原里珠さん。グループ名の由来は「豊明の魅力(Charm)発信」



7月中旬、催しのコーナーで登場する撮影パネルをメンバーで準備した



今年もやってきた夏祭り！ 目玉は打ち上げ花火と盆踊り

もとは中央公園で開かれていた豊明夏まつり。平成22年から会場を豊明市文化会館に移し、2日間にわたって開催している。ステージでは豊明桶狭間太鼓や豊明太鼓双峰会の演奏や、鳴子踊りチーム「豊明乱舞」の演舞、地域出身バンドグループによる演奏、キッズダンス、マジックショーなどを披露。注目の豊明浴衣アイドルコンテストなど、たくさんのお楽しみが目白押しだ。2日目には1100発の花火が打ち上がり、盆踊りで祭りを締めくくると、やぐらを中心に参加者が輪になり心をひとつにする。会場の盛り上がりは最高潮に達する。

毎年7月中旬からは中央公民館ホールで盆踊りの練習を3回実施。日本民謡研究会豊明支部が協力し、練習には誰でも参加できる。「最初は踊れなくても、本番までには皆さん踊れるようになりますよ」と日本民謡研究会豊明支部の下村豊文味さん。昨年からはやぐらが3段となり、今年もさらなる盛り上がりが見込まれる。

夏祭りを浴衣で楽しんでほしいと着付けコーナーも実施。予約をすれば、持ち込んだ浴衣を無料で着付けてもらえる。着付けは、子どもたちに着物など伝統文化を継承するマナー

つ子クラブの指導者が協力。豊明市女性の会の役員の方々は「昨年は外国の方にも浴衣を着てもらいました。今年も多くの方に利用してもらえよう準備しています」と意気込んでいる。ほかの役員の方々は「恥ずかしながら、踊りの輪に入ってみて！」と体感と充実感で祭りを楽しめるはずだ。今年も多くの魅力が盆踊りにはあるという。

今年も盛り上がる2日間、食べて、踊って、笑って！地域が一体となり盛り上がる2日間

information
2018豊明夏まつり
日時:8月4日(土)/8月5日(日)16時~
会場:豊明市文化会館、および駐車場
浴衣無料着付け
8月4日(土)/8月5日(日)16時~18時
場所:ギャラリー2
豊明浴衣アイドルコンテスト
8月5日(日)13時~

◎ToyoCharmについて
Twitterで下記のワードを検索
#豊明夏まつり
#ToyoCharm
#フォトブース



ステージでは、歌や踊りのほか、書道パフォーマンスやマジック、浴衣アイドルコンテストなど多彩な催しが開かれる



(左)迫力の打ち上げ花火は目玉企画のひとつ。子どもも大人も目を輝かせて、夏の夜空を見上げる(右)辺りが暗くなると、やぐらがライトアップされる。祭りが終盤に差し掛かると、盆踊りの盛り上がりは最高潮

豊明夏まつりを 楽しもう

毎年8月上旬、地域の恒例行事「豊明夏まつり」が開催される。出店や盆踊り、ステージショー、打ち上げ花火と夏にふさわしいイベントが盛りだくさん。祭りを支えるのは、地域住民を中心とした実行委員会だ。今年も来場者の夏の思い出がたくさんできるようなと、多彩な催しを企画している。

豊明夏まつり実行委員会の皆さん。豊明市商工会青年部、豊明市女性の会、サンフラワー発展会、豊明青年会議所、ToyoCharm、豊明市役所など、あらゆる地域の人が手を取り合う。前列右端が豊明市女性の会の原由実子会長



恥ずかしがらず、踊りの輪に入ってみて！
一体感と充実感で祭りを楽しめるはず



やぐらを中心に輪を作る参加者たち。さまざまなジャンルの音楽が流れ、老若男女が顔に汗をにじませながら笑顔で踊る。祭りが終わった翌日早朝には、実行委員会のほか地元の老人クラブも参加して会場周辺のゴミを回収する